



2016年 8月 25日発行 会報第850号

今週のプログラム

(2016年 8月25日 第850回例会)

国際奉仕フォーラム

ゲスト講演者 山本加奈子様

担当 藤田芳浩委員長

次週のプログラム

(2016年 9月 1日 第851回例会)

卓話 「日本の制服事情」

担当 水本 徹 会員

第849回例会 (2016年 8月18日) の記録

<会長の時間>

黒川彰夫会長

先週は、祭日「山の日」で休会でした。そして、お盆でした。長期の夏季休暇をとられた会員も多いことでしょう。また、オリンピックで寝不足になっていませんか。

ところで、お盆が地域によって時期が異なることをご存じですか？ 7月の新盆と8月の旧盆の2つがあるのです。それを知ったのは、7年前に他界した東京の長兄の初盆のときでした。義姉から「7月15日に初盆を品川寺（ほんせんじ）にて実施いたします」と連絡があったのです。何故7月にと思いました。東京と大阪とでは違うのを知ったとき、驚きました。その後、東京、函館、金沢の一部が7月にお盆を行っていることを知りました。

お盆の時期が異なる理由は、明治時代におこなわれた改暦が関係しているとされています。つまり、明治5年(1872年)に、従来の太陰暦を廃して翌年から太陽暦を採用することが布告され、西暦1873年1月1日に当たる明治5年12月3日を明治6年1月1日と決めました。乱暴にも約1か月、暦を早めたのです。したがって、お上に素直に従った地域では新暦の7月15日にお盆を行いだしたのを新盆と言い、旧暦のままの考えで新暦の8月15日に実施するのを旧盆と呼ぶのです。

全国的に見ると8月に行われる旧盆が主流です。現在、新盆は東京を中心とした一部の地域のみです。このようにお盆の時期のずれが定着した理由には諸説あります。たとえば、農業が盛んな地方の7月は農繁期で忙しいため、1か月遅らせたとする説などがあります。しかし、私の考えは少し異なります。明治政府が勝手に決めた命令に、一般庶民が素直に従わなかった密かな抵抗だったように思えます。

通常は、旧盆の地域の多くでは8月15日をお盆の中心と考え、8月13日から16日までの4日間にお盆の催しや風習が行われます。京都が8月7日からお盆の始まりを迎え9日間もお盆を催すのは、東京に都を移された抵抗のようにも思えます。

<お客様> なし

<表彰等> ポールハリスフェロー表彰 山本雅之会員

<出席報告> 松田親男出席担当

会員数（内出席免除会員 4 名）	24 名
本日の出席者数（内出席免除会員 1 名）	18 名
本日の出席率	85.71 %
前々回 7 月 27 日の修正出席率	71.43 %
前回 8 月 4 日の修正出席率	80.95 %
7 月のホームクラブ 出席率	81.40 %
7 月の平均出席率	83.72 %

<ロータリーソング>

夏の思い出

<ピアノ演奏>

近藤美里さん

1. 渚のアデリーヌ
2. 星に願いを
3. 涙のトッカータ
4. 蒼いノクターン

<幹事報告>

木下健治幹事

1. 地区大会の案内がきましたので、各メールボックスに配布しました。登録料 5000 円は第 2 四半期の会費と共に徴収します。出欠登録は配布の申込書に記入して戴いても結構ですが、後日申込み表を回覧しますので、そちらにご記入ください。
2. 月見例会の案内を回覧します。出欠登録表に記入をよろしくお願ひします。
3. ロータリー財団 100 周年記念シンポジウム開催の案内が届きました。
4. 先般配布した秋の RYLA の案内ですが、ホストクラブの連絡先が変更になったので再度配布致します。
5. クラブの現況に掲載する名簿を回覧していますが、まだ確認がお済みでない方は大至急お願ひします。
6. 2006-07 年度米山奨学生ラカボサ・クレラさんからお中元が届きました。夏の休暇もなくフィジー大使館で日々忙しく仕事をしているそうです。
7. 8 月 4 日開催の理事会の決議事項をご報告します。

8 月 4 日開催理事会決議事項

* 『クラブの現況』 盆休みに編集予定 原稿未提出は 4 名→個別に対応

* 直近イベント、フォーラムの計画

[8/25 国際奉仕フォーラム]

* ラオスの現状と今後の当クラブの支援内容について

* 山本加奈子氏を講師に迎え 30 分講義、30 分質疑応答

[9/8 お月見例会]

* エキスポシティ観覧車に乗車後、オリエンタルスプーンにて懇親会予定

18:30 観覧車集合 会費: 会員 ¥5,000 ビジター ¥8,000 (8/18 に ¥7,500 に変更)

* その他

[秋の RYLA 登録]

* 例年どおり Rtn. ¥6,000 × 3 名 = ¥18,000 を登録料とする

<ガバナー補佐報告>

水島 洋ガバナー補佐

③ 規定審議会について—続き—

制定案 16-36「会員身分に柔軟性を認める件」が RI 理事会提案として提出され賛成 386 反対 75 で採択されました。これは、RI 細則第 4 条およびクラブ定款第 7 条の会員身分に関する規定について、各クラブがその細則の中で上記規定に従わない規定や要件を採用することができるように改正したものです。この提案趣旨についても、制定案 16-21 の「例会頻度」と「出席」に関する件と同じく、このような柔軟性なしには今後会員基盤の縮小と高齢化が続く可能性があるから、というものです。

制定案 16-07 は当初「クラブ会員の入会金を廃止する件」と訳され賛成 232 反対 228 で採択され、その後「クラブ会員の入会金に関する箇所を削除する件」と変更されました。具体的には、RI 細則第 4 条

「クラブの会員身分」の第 11 項「入会金および会費」等の条文の入会金についての記述を一切削除するといった内容です。地区内でも当初、入会金が取れないなら「特別協力金」等の名目で入会金の代わりになる項目を作らなければ、といった考えもありましたが、その後、6 月 21 日付けのガバナー書面が送付されて来て、RI 事務総長の通達で、クラブ定款から「入会金」が削除されて入会金を払わなくても入会できるクラブもあれば、従来通り入会金を徴収するクラブもあり、それはクラブの裁量に任せられるとの見解が出ました。

制定案 16-40「ローターアクトが正会員となることを認める件」は賛成 419 反対 97 で採択されローターアクトに RAC と RC の二重会員になれる資格が明確に与えられました。この規定によって職業分類 5 名、10%ルールが一時的に制限を越えてもよい、とされています。なお、第 2660 地区大阪北 RC や日本 3 地区、フランス 6 地区から提出された制定案 16-41「仕事をしたことがない人が会員となることを禁じるよう、会員基準を改正する件」は、今回の審議会で職業分類の規定が削除されなかったため、職業分類関連の案件は審議「無期延期」となりました。

これらの RI 規定の大きな変更につきましては、いかに理解するかで当惑している面が少なくないため 11 月末に開催されるロータリー研究会で斎藤 RI 理事がわが国 34 地区の統一見解を発表されます。

松本ガバナーもこの見解に沿って対応していきたいというお考えです。

以上

<SAA 報告>

岸上和典 SAA

*スマイルボックス

黒川会員 暑いです。

柳原会員 新年度になって、税務調査の依頼が多いです。

渡邊会員 8 月 15 日の終戦記念日、日々の暮らしの平安に感謝し大阪護国神社に参拝してきました。

コメントなし 相原会員・山下会員

*ロータリー財団

黒川会員 暑いのと孫とで大変。

藤田会員 25 日次週、山本加奈子様例会に 来られます。皆様よろしく。

木下(健)会員 山下委員長、山田委員長、よろしくお願ひします。

山田会員 フォーラムだったのですね。昨日の黒川会長からのお電話で知り、大慌てです。

コメントなし 小山会員・山下会員

*米山記念奨学会

黒川会員 オリンピックで寝不足。

木下(健)会員 明日から 3 日間、渡邊会員と一緒にです。

コメントなし 山下会員・山本(雅)会員・藤田会員

*ラオス基金

黒川会員 ラオスの計画をそろそろ！

柳原会員 明日は楽しい税務調査です。

山本(友)会員 高校野球は近畿勢ダメでしたね。

渡邊会員 明日から 3 日間、木下会員と高野山で修行してきます。

山田会員 お客様の案内に忙しくて、しんどいです。

コメントなし 藤田会員・山下会員

*メイプル基金

水島会員 本日のフォーラムよろしくお願ひします。

水本会員 残暑お見舞い申し上げます。

山本(友)会員 オリンピック頑張ってますね！日本勢。

黒川会員 東京は暑いそうです！

柳原会員 来週も税務調査です。うれしいな～。

藤田会員 山田クラブ奉仕委員長、山下社会奉仕委員長、本日よろしくお願ひします。

コメントなし 相原会員・山下会員

社会奉仕はロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会です。2016-2017年度ジョン・F・ジャーム会長が提唱されたRIのテーマは“Rotary Serving Humanity(人類に奉仕するロータリー)”です。これを受けて松本ガバナーは第2660地区の方針を“The Ideal of Service(ロータリーの根幹精神)”と定められました。

人は社会からその恩恵を受け取ると同時に、還元していく責務がある。この自覚の上に立って、社会に向けて具体的な行動を行うこと、これをサービスと言う。この基本理念をしっかりと認識して実践していこうと呼びかけられています。当然、サービスは各クラブでのオリジナルな社会奉仕が主体となります。地区の社会奉仕委員会は、各クラブの社会奉仕活動がより有意義なものになるようにサポートしていきたいと思っています。

また、第2660地区の社会奉仕委員会としての活動はロータリー・ファミリーであるロータリー・アクトやインターアクトとの共同作業である献血活動の呼びかけや、大和川の清掃に取り組むとともに、各クラブに地区の活動に参加していただけるように呼びかけていきたいと思っています。

また、ロータリー財団に連携して、地区補助金を各クラブでうまく活用できるように、社会奉仕委員長によく理解していただくためのセミナーを粘り強く開催していきたいと思っています。

○活動計画

■情報提供と研修

年2回の社会奉仕委員長会議の開催（9月17日及び4月ごろ）

- ・地区補助金の活用セミナー（ロータリー財団委員会）
- ・大阪湾再生の協力（国土交通省近畿地方整備局、大阪府等）
- ・献血活動の協力（日本赤十字血液センター）
- ・危険ドラッグ・薬物乱用防止活動の協力（大阪府健康福祉部）
- ・虐待防止（児童虐待防止機構）
- ・日本における里親の現状（日本こども支援協会）

■第2660地区の他の委員会との共同作業（継続事業）

- ・献血呼びかけ活動の実施（ロータアクト委員会/RAC）
7月23日と26日の2回〔日本赤十字血液センター〕
- ・大和川の護岸清掃活動の実施（ロータアクト委員会/RAC）
3月〔大阪府・大阪市・国土交通省・近畿地方整備局〕
- ・9月・3月・4月〔クラブ社会奉仕委員長会議・地区研修・協議会〕

■その他の事業

- ・国内大規模災害発生時の情報提供と支援のお願い
- ・各種団体との連携、会議への出席とその情報提供
豊かな環境づくり大阪府民会議・エコ会議など
- ・卓話講師の派遣

日本赤十字血液センター、国土交通省・近畿地方整備局、大阪府健康福祉部、児童虐待防止機構、日本子供支援協会、ロータリー財団、地区社会奉仕委員会

突然ですが、みなさんは宝くじに当たればどうされますか？ ここにおられる皆さんには必要のないことかもしれません。フォーラムにふさわしくないような始まりではあります。

運であるとか、買う場所の縁であるとか、運とか縁のバランスについて。以前に卓話でお話しさせていただいたように、アメリカインディアンの人々に感じさせられた運や縁のバランスが、すべてにおいて大切であるのではないかということをおロータリーにあてはめて考えてみました。私個人も運一縁一心一感謝一反省のバランスで、人生が回ってきたように思います。

ロータリーのクラブ奉仕の歴史を学ぶに、ロータリーの目的と理念は、大半がクラブ奉仕にあるのか、木に例えると太い根っこの部分であるとか、クラブ奉仕がロータリーの土台になる重要な役割をもつものだと言われています。そこで私がロータリアンとして感じるのは、いま言いましたことがロータリーの4大奉仕、5大奉仕といわれる各部門、各委員会のバランスというものにおいても重要なのではないかと考えています。そしてそれは、クラブ奉仕の委員の間においても同じに重要であるのではないのでしょうか。

今期の各奉仕担当の委員長の思い、願い、感じるところを、クラブの皆さんに投げかけていただきたいと思います。

藤田親睦委員長：黒川会長の方針に基づいて、会員、家族、友人が楽しく集う親睦を目指し、考えていきます。来月の月見例会は近隣の万博記念公園にできた日本一高い観覧車乗車と食事会から始めて今季の親睦の会を催します。

高尾会報委員長：会報書式に基づいてやっていただいているが、難しい面もあるけれども、会報担当者をできるだけ早めに決めてやっていきたいと思っています。何かあれば言ってきてください。

水本会員委員長、あなたが会長時代におっしゃっていた帰属意識を今も大事に思っていますか？：今ももちろん、帰属意識が大事だと思っています。やはり、誰でもいいから人数を増やせではいけないと思っています。でも努力は必要なので、皆さん、ご協力願いたいと思います。

小山情報委員長、今の時代の外への情報発信について？：委員会として今のところ特別に何ということもなく、変わらずにやっています。

黒川会長：われわれ会員それぞれがどんな目的意識でやっていくのか、また、今期も福島・ラオスを中心にクラブ運営も含めて、クラブのあり方、皆さんとディスカッションしながらやっていきたいと思っています。次週来られる山本加奈子さんのお話を聞きながら、ラオス行きなど相談しながら進めたいと思います。

<編集後記>

ラカボサ・クレラさんからお中元おいしく頂きました。10年も前の米山奨学生のクレラさんが千里メイプルを忘れずにいくださることが素晴らしいと感激しました。私が入会する前の奨学生の方なので一度お話を聞きたいと思い、また、こんなご縁を繋いでいければよいなと感じました。国際奉仕としても、クラブの活動としても、クレラさんを通じてフィジーについて学べないかとも思いました。ラオス以外にも我々の身近に他国と交流、学ばせていただくことができるようなご縁を見過ごすのはもったいないと感じます。

フォーラムとは・・・活動方針の説明とは違ってもっとディスカッションを主体にして進めるべきだったと反省いたしました。

(担当 山田)